

(事業所及び回答者について)

問 1 貴事業所について、ご記入ください。 ～ 省略 ～

問 2 アンケート回答者の氏名をお答えください。 ～ 省略 ～

(居宅サービスの計画作成数について)

問 3 現在（令和 7 年 8 月 1 日時点）、貴事業所で担当した（プランを作成した）方の人数は何人いますか。

	人 数
あきる野市内・市外を含めた、全人数	2, 0 3 9
上記のうち、あきる野市内の被保険者人数	1, 9 0 7

(認知症高齢者について)

問 4 現在（令和 7 年 8 月 1 日時点）、貴事業所で受け持っている利用者の中で、認知症高齢者の方や認知症高齢者と思われる方はいますか。また、「(1) いる」の場合、何人いますか。

	事業所数	人 数
い る	1 6	6 3 4
いない	0	

(一人暮らし高齢者について)

問 5 現在（令和 7 年 8 月 1 日時点）、貴事業所で受け持っている利用者の中で、一人暮らしの高齢者はいますか。また、「(1) いる」の場合、何人いますか。

	事業所数	人 数
い る	1 6	5 2 0
いない	0	

(高齢者だけの世帯について)

問 6 現在（令和 7 年 8 月 1 日時点）、貴事業所で受け持っている利用者の中で、一人暮らし高齢者を除く高齢者だけの世帯はありますか。また、「(1) ある」の場合、何世帯ありますか。

	事業所数	世帯数
あ る	1 6	4 2 5
な い	0	

(家族の支援が困難な世帯について)

問 7 現在（令和 7 年 8 月 1 日時点）、貴事業所で受け持っている利用者の中で、同居する家族（配偶者、子等）が何らかの理由（障がい等）により、高齢者を支援することが困難な世帯はありますか？また、「(1) ある」の場合、何世帯ありますか。

	事業所数	世帯数
あ る	1 2	1 6 2
な い	4	

(地域密着型サービス利用希望について)

問 8 貴事業所で受け持っている利用者の中で、新たに次の地域密着型サービスを居宅サービス計画に位置づけたい人はいますか。(地域密着型通所介護を位置づけたい人がいるが、定員に空きがなく計画に位置づけられない場合や、看護小規模多機能型居宅介護など、あきる野市に現在整備されていないサービスを計画に位置づけたい人がいる場合などを想定しています。)

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(1) 地域密着型通所介護 (定員18人以下の小規模デイサービス)	1. 計画したい方がいる	8	43
	2. 計画したい方がいない	8	
理由(1. 計画したい方がいる) ・人数が多いところより、少ないところの方が向いていると思われる方がいる。 ・家庭的な雰囲気介護してもらえる。 ・現状利用枠が少なく、利用したい時に利用できない。			
理由(2. 計画したい方がいない) ・利用希望者は利用できており、充足している。 ・特定の事業所に繋がたくて空きがない場合はあるが、特に不足は感じていない			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(2) 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	1. 計画したい方がいる	6	11
	2. 計画したい方がいない	10	
理由(1. 計画したい方がいる) ・認知症が疑われる本人が一人暮らし、もしくは同居の娘に発達障がい傾向があり、日常的な見守りが必要と考えられる。 ・行っている事業所が少なく利用したくても利用できない状況である。 ・体は元気だが認知症症状が激しく目が離せない方がいる。			
理由(2. 計画したい方がいない) ・金銭的に余裕がないと利用できない。 ・利用料が高額であり、紹介しても選ばれない。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(3) 認知症対応型通所介護 (認知症高齢者専用のサービス)	1. 計画したい方がいる	5	6
	2. 計画したい方がいない	9	
理由(1. 計画したい方がいる) ・認知症に特化されているので利用したい。 ・認知があってもゆったりと通所できる。			
理由(2. 計画したい方がいない) ・重度者の対応は認知症対応型通所介護でも難しい。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(4) 地域密着型介護老人福祉施設 設入所者生活介護 (小規模特別養護老人ホーム)	1. 計画したい方がいる	2	2
	2. 計画したい方がいない	14	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・施設が小規模で、アットホームな雰囲気がある。			
理由 (2. 計画したい方がいない) ・いつもいっぱいのイメージである。 ・対象者がいない。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(5) 小規模多機能型居宅介護 (通いを中心に訪問や泊まりを提供)	1. 計画したい方がいる	10	21
	2. 計画したい方がいない	6	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・ショートなどもっと組み込めるなら利用したい。 ・今の介護度では本来必要と思われるサービスが十分入れられない。認知症状があり顔なじみの職員による対応が望ましい。 ・認知症がひどく家族が対応しかねているが、施設入所には介護度不足である。 ・すでに事業所には打診しているが、現状空きがなく、4人待ちとのこと。			
理由 (2. 計画したい方がいない) ・充足している。 ・サービスの考え方は素晴らしいが、人材難で十分に利用できない。 ・位置付けたいと思うが、「泊り」サービスを実質月に数回しか行っていない実情があり、位置づける必要性を感じない。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(6) 地域密着型特定施設入居者 生活介護 (小規模有料老人ホーム)	1. 計画したい方がいる	0	0
	2. 計画したい方がいない	16	
理由 (1. 計画したい方がいる) なし			
理由 (2. 計画したい方がいない) ・該当 (希望) する利用者がいない ・別の施設で対応できるので特に必要を感じない。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(7) 夜間対応型訪問介護 (定期巡回訪問、通報によるオペレーションサービスを組合せた訪問介護)	1. 計画したい方がいる	7	1 2
	2. 計画したい方がいない	9	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・がん末期で退院したが独居である場合など、サービスが整備されれば利用したい。 ・夜間のおむつ交換の介護が必要な方いる。 ・夜勤で働く介護者がいるため ・独居や介護力の弱い難病の方や排せつに介助を必要とする方、転倒頻回の方などを担当した時などには、サービスがあれば、ご本人が希望する在宅生活がもっと安心して継続できたと感じることはある。			
理由 (2. 計画したい方がいない) ・現状は必要な方がいない			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (日中・夜間を通じ訪問介護と訪問看護を一体的、又は密接に連携し提供)	1. 計画したい方がいる	6	1 2
	2. 計画したい方がいない	1 0	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・独居や医療度合いが高い方にはあると良い。 ・独居や高齢世帯だが、失禁や転倒が頻回で、夜間や臨時訪問なども必要なため。 ・近隣に利用できるサービス事業所がない。			
理由 (2. 計画したい方がいない) ・現状は必要な方がいない			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(9) 看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護のサービスに加え必要に応じ訪問看護を一体的に提供)	1. 計画したい方がいる	4	6
	2. 計画したい方がいない	1 2	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・医療度合いが高い方には利用させてあげたい。 ・サービスの必要性が増したときに一体的なサービス提供が可能な看多機は有益である。			
理由 (2. 計画したい方がいない) ・あれもこれも利用したがる方がいない。			

(地域密着型サービスについて)

問9 地域密着型サービスや総合事業などについて、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

- ・訪問介護の要支援者を受け入れできないと言われる。総合事業を柔軟に利用できるように報酬単価自体を上げてほしいですね
- ・介護度が低いため、どうしても自費が出てしまう場合など、小規模多機能型居宅介護に移行したいが、スタッフが居ないとの理由でショートが組み込めない。他市から移住してきた方にサービスの無さを指摘された。ヘルパーも人材不足により頼めないことも多々あり、(同じ時間帯に重なる)地域密着型通所介護、転倒や事故報告も余り上がってこない。自費での夜間泊まりサービスは特に後から聞いてびっくりすることがある。
- ・少しずれているかもしれませんが、訪問介護(ヘルパー)の人材不足が深刻です。訪問介護は在宅生活を支えていくために大変重要な役割割りと思います。
- ・フレイルからの重度化防止のために軽度者に特化した運動特化型の通所型サービスの需要が多いが、市内には非常に少なくいつも空席待ちとなっている。また、生活援助も極簡単なもののニーズがあるのだが、互助は難しく、有償ボランティアが少なく、るのヘルパーも居ない。高齢独居者にネットスーパーの利用方法を教えてくれるボランティアがいれば、買い物代行が特定数不要になるはず。
- ・訪問介護事業所の代わりを担う社会資源がなく、訪問介護事業所の縮小は影響が大きい。利用者の住む地域によって利用を断られてしまうことが多い。特に買い物、掃除支援がニーズが高い。
- ・地域密着型サービスに限らず、ヘルパーサービス、ケアマネジャーも不足しています。
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を他市で利用している利用者がいるが、本人・家族ともにとても有用に感じており、あきる野市においても必要だと感じる。「小規模多機能型居宅介護」では市内にも2カ所あるが、「訪問」「通い」「泊り」の3つのサービスを組み合わせて利用するのが利点だと感じているが、実際には「通い」中心で、他の通所介護との違いを見いだせない。
- ・夜間の訪問は難しいと思う、車の音などでクレームが来た例もある。
- ・利用できればいい制度はあるものの、地域に資源がなかったり、あっても人材難で活用できないケースが多い。
- ・認知症の方には、地域密着型通所介護は、きめ細かく介護していただけるので大変助かっています。
- ・地域密着型通所介護に通っている方は、とても楽しく利用できています。職員の皆さんも行き届きやすいのか、色々な点に気が付いて下さり、アドバイスいただけます。
- ・お泊りがある施設は、利用者を泊めさせてくれる人と泊めさせてくれない人を選んでいると思います。

※アンケートの回答のうち、現に運営している事業所に対する直接的な意見や要望については、記載を控えさせていただいております。